

印刷功労賞

日印産連表彰者 受賞者の紹介

三浦 剛治

三浦印刷株式会社
会長

印刷工業会



推薦理由

平成 26 年に印刷工業会の常任理事並びに日印産連の常任理事に就任し、長きにわたり印刷業界の発展と地位向上に尽力した。印刷工業会各部会への積極的な派遣など団体活動を推進するとともに、JapanColor の周知・浸透やデジタル校正の普及による合理化に努めるなど業界発展に貢献した。また広い人脈を活かした他業種交流への参画など、連合会組織拡大にも腐心した。

二瓶 春樹

光村印刷株式会社
相談役

印刷工業会



推薦理由

社長就任後、平成 26 年 5 月に印刷工業会の常任理事となり、光村印刷としては 12 年ぶりに就任となった。同年 6 月には日印産連の常任理事にも就任し、印刷業界の発展と地位向上に尽力した。印刷工業会の部会活動には商業印刷部会、資材部会等多くの部会に対し積極的な部員の派遣を行い、印刷工業会活動に多大なる支援を行った。

板倉 清

(株)アイテックサプライ
代表取締役社長

全日本印刷工業組合連合会



推薦理由

平成 26 年から現在まで全印工連常務理事、北海道工組理事長として、中小印刷産業の振興・発展、地位向上に努める。平成 26 年には第 30 回北海道印刷・情報文化札幌大会大会長として大会を成功裡に導き大きな成果を残すなど、新しい印刷産業を広く社会にアピールした功績は多大である。北海道地区印刷協議会会長としても道内中小印刷産業の振興に大きく貢献している。

大久保 秋生

株式会社共同印刷所
代表取締役

全日本印刷工業組合連合会



推薦理由

平成 22 年から平成 24 年まで、全印工連常務理事として中小印刷産業の振興・発展に努める。この間、特に組織・共済委員長として「魅力ある組合づくり」を目指し、全国の組合員加入増強活動、共済加入促進キャンペーンを指揮し、大きな成果を上げた。平成 24 年からは 2 年間にわたり組織活性委員会特別委員として全印工連の活性化に寄与するなど、中小印刷産業の発展向上に大きく貢献した。

印刷功労賞

大門 一平

秋田印刷製本株式会社
代表取締役社長

日本フォーム印刷工業連合会



推薦理由

日本フォーム印刷工業連合会の理事及び常任理事を10年勤め、東北フォーム印刷工業会では平成18年より副会長、平成26年より会長に就任し、会の発展に寄与した。また、印刷業を通して地元産業の振興に努めて、日印産連が推進している「じゃばにうむ」にも印刷会社と米作農家が連携し、単一農家米のブランド化による地域農業の高付加価値化を推進していると紹介され、その業績は多大である。

沖 敬三

勝美印刷(株)
相談役一般社団法人
日本グラフィックサービス工業会

推薦理由

地元東京・文京支部、東京地協の役員を歴任したあと、ジャグラの常任理事に2期4年間務めた。その後、請われて専務理事に就任し、これまでの4期の間、ジャグラの財政基盤を盤石なものにしたほか、会員増強にも力を入れて、会員増を果たす等、その功績は大なるものがある。また事務局の指導においても卓越した手腕を発揮し、後進の指導に当たっている。

岡本 城夫

(株)一貫堂
代表取締役会長

全日本製本工業組合連合会



推薦理由

現在、全製工連副会長、大阪工組理事長の要職を務める。この間、組合員の要望に合った製本機械の講習会を開催して技術の向上に取り組んだ。平成28年5月大阪工組理事長に就任し、組合が抱える様々な問題に対処する財政健全化経営革新委員会を設立、現在、組合中期ビジョンの作成に取り組んでいる。全製工連においては、紙製品製本専門委員会の担当副会長として、紙製品製本業者をまとめたほか、連合会の事業の充実化に努め、製本業の振興発展に貢献している。

山田 義弘

清堀写真製版株式会社
代表取締役社長日本グラフィックコミュニケーションズ
工業組合連合会

推薦理由

経営環境の激化に適応した工程の構築に努め、企業経営の基盤確立に従事するかたわら、永年にわたって業界団体組織のGCJ副会長、GC近畿理事長の要職を歴任し、その重責を担う。多岐にわたる組合の各種事業運営に積極的に取り組み、組織の円滑な運営と振興発展に務めた。業界組織の活性化を目指して事業運営に寄与した功績は多大である。

印刷功労賞

藤木 俊夫

(株)萬誠社印刷工業所
代表取締役

全日本シール印刷協同組合連合会



推薦理由

京都シール印刷工業協同組合では長きにわたり役員を務め、理事長と全日シール連合会副会長在籍時には全国大会の担当責任者としてリーダーシップを発揮して成功裏に運営した。また、IT 関係に習熟しており、現在連合会で使用している「メーリングリスト」の礎を担っており全国の役員が意見・討論・参加出来る環境を整備して連合会運営の面でも多に役立っている。

佐伯 鋼兵

(株)佐伯紙工所
代表取締役社長

全国グラビア協同組合連合会



推薦理由

昭和 44 年に(株)佐伯紙工所を創業し、順調に社業を伸ばし、平成 3 年から浦和市議会議員に 4 期 16 年連続当選。その後、さいたま市議会議長の要職をこなし、平成 26 年さいたま市商工会議所会頭、埼玉県商工会議所連合会会長として中小企業発展に寄与した。その間、埼玉県グラビア協同組合理事として勤め、本年には理事長として期待されている。また永年全国グラビア協同組合連合会理事をも務め、業界発展に寄与し、その功績は多大である。

福本 正一

(有)とみおかプロセス
代表取締役

全日本スクリーン・デジタル
印刷協同組合連合会



推薦理由

神奈川組合理事長として若手の登用などにより組合活動の活性化に大きく貢献した。連合会役員として、50 年を超えるスクリーン印刷の経験をもとに、ステッカー・看板から工業製品まで多岐にわたる自社の技術を紹介し、業界の技術向上に大きく寄与した。連合会主催の「2016 年度 スクリーン・デジタル印刷界 表紙コンクール」において第 1 位を獲得し、その技術の高さが改めて評価された。

中島 成和

(資)中島加工所
代表社員

全日本光沢化工紙協同組合連合会

(故人)



推薦理由

多年にわたり、全日本光沢副会長として業界運営に務める一方、組合設立当初より、中部光沢化工紙協同組合、理事、副理事長、理事長の要職を務め、組合の礎を築き組織強化、振興発展に尽力。また、光沢専門業者として創業以来 57 年間代表者の責にあつて、技術を研ぎ、技術指導にあたり、業界発展に果たした役割はまことに顕著である。

印刷振興賞

飯泉 祐治

ビーエフ&パッケージ㈱
取締役生産技術本部長
兼 関東工場長
印刷工業会



推薦理由

長年にわたり、液体紙容器の製造に携わり、機能性や美粧性のある商品の開発を行った。また、食品安全マネジメントシステム「FSSC 22000」を認証取得し、フードチェーンのニーズに応え、品質管理と製品安全の強化を行った。

荻野 正彦

水上印刷㈱
取締役技術本部長
印刷工業会



推薦理由

複写機、スキャナ、プリンタ等の品質評価に欠かせないテストチャートの研究開発、製造に長年携わり、世界シェア90%を誇る製品に育て上げた。印刷業界のみならず複写機、光学機器業界の発展に大きく貢献した。

齋藤 嘉幸

大口製本印刷㈱（大日本印刷）
顧問
印刷工業会



推薦理由

入社より印刷部門に従事、その後、労働組合執行委員長、製本会社の社長を歴任してきた。多様な経験によって培われた知見とリーダーシップを発揮し、印刷・製本部門の効率性の追求や品質管理、人材育成に尽力し、業界の発展に貢献した。

眞田 整

トッパン・ヒューマン・インフォメーション・サービス㈱
（凸版印刷）
印刷工業会



推薦理由

凸版印刷㈱在籍時において、印刷技術の標準化に関し、JIS原案作成委員会の幹事、委員として国内外で長年活動し、日本の印刷産業の発展に貢献した。特に、印刷用語、校正記号の標準化では大きな成果をもたらした。部会の活動を多年にわたり務め、業界の発展に貢献した。

藤田 良郎

瞬報社写真印刷㈱
代表取締役社長
全日本印刷工業組合連合会



推薦理由

平成22年から現在まで、全印工連理事、山口県工組理事長、中国地区印刷協議会副会長として中小印刷業界の振興発展に尽力する。平成12年から4年間にわたり全印工連マーケティング委員会委員を務め、中小印刷業界にマーケティングの考え方を導入した功績は顕著である。

杉山 昌行

山協印刷㈱
代表取締役社長
全日本印刷工業組合連合会



推薦理由

平成20年から平成24年まで全印工連監事として、全印工連のガバナンスの向上に貢献した。平成24年からは全印工連理事、神奈川県工組理事長、関東甲信越静地区印刷協議会幹事、副会長の要職を務め、中小印刷業界の地位向上、振興発展に果たした功績は顕著である。

印刷振興賞

中西 知

(株)アイプリコム
代表取締役会長

全日本印刷工業組合連合会



推薦理由

平成 20 年から平成 28 年まで、全印工連理事、奈良県工組理事長、近畿地区印刷協議会幹事の要職を務める。この間、中小印刷業界の地位向上、組織強化の推進に尽力するなど、業界の振興発展に果たした功績は顕著である。

丸田 勝功

太平洋印刷株
代表取締役専務

日本フォーム印刷工業連合会



推薦理由

平成 18 年に理事に就任し、平成 27 年からは常任理事として通算 11 年に渡り関東フォーム印刷工業会の運営に携わっている。2 年前からは活性化委員の副委員長として、若手会員の交流と親睦に力を注いでいる。社業に於いてもフォーム印刷の合理化、近代化に貢献している。

川畑 利之

相互ビジネスフォーム(株)
代表取締役社長

日本フォーム印刷工業連合会



推薦理由

平成 22 年から関西フォーム印刷工業会理事に就任し、平成 28 年からは大阪府印刷工業組合常務理事に就任、常に先頭に立って、関西の業界の振興発展と地位向上に大きく貢献した。業界の枠を超えて情報交流を積極的に行い、後進の指導や業界指導などにも多大に貢献した。

笹岡 誠

(有)ドゥ・プラン
代表取締役

一般社団法人
日本グラフィックサービス工業会



推薦理由

東京・城西支部長を 10 年以上にわたり務め、支部の融合と団結、そして活性化に取り組んだ。またジャグラ理事としてもデジタルに通暁した理事として活躍している。

尾形 文貴

(株)みつわ
代表取締役

一般社団法人
日本グラフィックサービス工業会



推薦理由

千葉県支部長を 10 年以上にわたり務め、支部の融合と団結、そして活性化に取り組んだ。またジャグラ理事として個人情報保護の推進や環境保護の推進にも取り組み活躍している。

飯島 浩司

飯島製本(株)
代表取締役

全日本製本工業組合連合会



推薦理由

多年にわたり愛知工組の理事、副理事長を務め、この間、中央技能検定委員及び愛知県技能検定委員として製本技能検定試験の円滑な運営に尽力したほか、愛知地区製本業の振興発展に努める。

印刷振興賞

山本 雅夫

(株)山本製本所
代表取締役

全日本製本工業組合連合会



推薦理由

平成 20 年に東京工組教育・労務委員長に就任し、現在至っている。この間、個人情報保護体制認定制度の運営に尽力したほか、各種製本機械講習を開催して、従業員の製本技能の向上に貢献した。

田中 潤一郎

(有)田中凸版
代表取締役

日本グラフィックコミュニケーションズ
工業組合連合会



推薦理由

多年にわたり企業経営に携わるかたわら、業界組織の要職を歴任し、現在 G C J 副会長・G C 九州理事長として活躍。全国及び九州地区の業界組織の振興に努めるとともに、長年にわたり事業推進、組合業務全般の運営に尽力した功績は多大である。

原 眞治

(株)プライム・ハラ
代表取締役会長

全日本シール印刷協同組合連合会



推薦理由

シール印刷四国協同組合が全日本シールに加入した当時から四国協組の理事、専務理事、副理事長、理事長を務め、組織強化に努めてきた。連合会では主に広報国際委員会に属して四国協組の情報発信に努め、連合会行事にも積極的に参加して四国協組との橋渡し役として活躍した。

杉山 真一郎

富士特殊紙業(株)
代表取締役社長

全国グラビア協同組合連合会



推薦理由

経営する富士特殊紙業(株)は、水性グラビア印刷の環境技術に対し、デュポン賞、環境大臣賞等の国内外より数多く栄誉を得ている。また、業界においては、全国の青年部の中心として奔走し青年部全国連絡会を発足させた。

田中 一誠

(有)山田八興堂
代表取締役

全日本スクリーン・デジタル
印刷協同組合連合会



推薦理由

昨年創業 100 年を迎えた名門企業において、業界で高く評価され海外需要にも対応したプレート印刷の卓越した技術の改善向上を牽引した。また団体の役員として組織の強化、若手理事の指導育成に努めている。

高見 正行

(株)高見紙化工所
代表取締役

全日本光沢化工紙協同組合連合会



推薦理由

理事就任以前より組合活動には積極的に協力し、就任後も関連団体等とのパイプ役となり、現在も業界発展に多大な貢献をしている。また、組合のセミナーや他団体の自社工場見学会を開催するなど地区の交流にも積極的に協力している。

特別賞

愛知県印刷工業組合
岐阜県印刷工業組合
三重県印刷工業組合
石川県印刷工業組合
富山県印刷工業組合
愛知県印刷協同組合

全日本印刷工業組合連合会

中部5県共催 「ポスターグランプリ」の開催

推薦理由

本年度で第8回を迎える「ポスターグランプリ」は、愛知県印刷工業組合、岐阜県印刷工業組合、三重県印刷工業組合、石川県印刷工業組合、富山県印刷工業組合、愛知県印刷協同組合の6団体が主催するコンペティションで、平成22年から毎年開催している。応募資格を愛知県、岐阜県、三重県、石川県、富山県の5県内に在住または在勤・在学する個人に限定し、将来のグラフィック業界を担う学生、生徒及び一般のデザイナーを対象に作品募集するなど、地域の人材の発掘・育成に大きく寄与している。また、入賞・入選作を愛知県美術館や主催工組のイベント時に展示するなど、地域に密着したコンペティションとして定着しており、中部5県の人材の育成および中小印刷業界のコンテンツ制作の振興・発展に大きく貢献している。



東京都印刷工業組合
城南支部

全日本印刷工業組合連合会

社会貢献事業 「Smile “紙援” Project」

推薦理由

「Smile “紙援” Project」は、地元の品川区・大田区の協力の下、地域の子どもたちが多種多様な紙と触れ合うことで創造力を高めるきっかけになればとの思いから「印刷業界ができる社会貢献事業」として、平成24年にスタートした。組合員企業提供の残紙を使いやすいサイズに成形し、品川・大田両区の保育園、幼稚園、児童館等に無料配付する活動で、過去5回で263カ所への配付実績がある。配付先からたいへんに喜ばれ、品川・大田両区からも期待される事業として発展し、地域の教育、児童福祉および中小印刷会社のイメージアップに大きく貢献している。

